



ひろがる神宮外苑再開発反対の世論 和泉都議 都とJSCへ申し入れ

樹木3000本を伐採することなどで、神宮外苑の再開発について批判の聲がますますひろがっています。

九月七日ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）が異例の警告を発表しました。

和泉なおみ都議はこの国際的な警告を受けて、都に対して「都市計画の見直しを行うべきだ」との申し入れを行い、さらに開発事業者のひとつであるJSC（日本スポーツ振興センター）へも田村智子参議院議員らとともに申し入れを行いました。

「国際的な遺産が失われる懸念」 イコモスが警告

イコモス（国際記念物遺産会議）は、ユネスコ（国連教育科学文化財団）の諮問機関で百数十ヶ国の専門家が参加しています。イコモスは九月七日、神宮外苑の再開発についてヘリテージ・アラート（文化遺産危機警告）を発表し、九月十五日に東京で記者会見を行い「再開発計画の撤回」を訴えました。

和泉都議と都議団

ただちに都に申し入れ

「警告は重く受け止めよ」

文化遺産の保護を目的としてつくられた国際機関が警告を発して、都市計画決定の見直しをもとめたことに対して、和泉都議はただちに

ラグビー場の移転中止を

JSC（日本スポーツ振興センター）

に申し入れ

九月二十日、和泉都



JSCへの申し入れ

議と都議団は、田村智子、吉良よし子、宮本徹 各国会議員とともに日

ついに事業者が見直し

事業者は、既存樹木の伐採着手前までに樹木の安全に関する具体的な見直し案を しめすとし、伐採・移



東京都への申し入れ

れを行いました。

本スポーツ振興センター（JSC）に対して、神宮外苑再開発事業で、秩父宮ラグビー場の移転建設をしようとしていることの見直し、中止を求める申し入れを行いました。

植予定は来年一月以降としました。世論の反映です。再開発中止・見直しまで奮闘する決意です。

都国保運協開かれる

「値上げにつながる一般会計繰り入れ解消」

九月七日、都国保運営協議会が開かれました。和泉都議は委員として出席しました。

運営協議会には来年度の国民健康保険運営方針の策定要領が示されました。

それは国の国保への負担割合引き下げについてはなにもふれずに、各区市町村

和泉都議が厳しく批判

が行っている保険料値上げを抑えるための一般会計からの繰り入れを解消することを、年限を定めて決めようとするものでした。

和泉都議はこのことについて「物価高騰がつづいていくなかで、国保の保険料のさらなる値上げ

が避けられないような方針でよいのか」と厳しく批判しました。



日本共産党 都議会議員

和泉なおみの
さわやかレポート

NO. 85 2023. 10

和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8

TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851